



2015年6月1日

岡山県知事

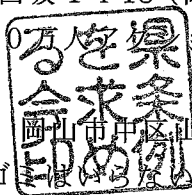
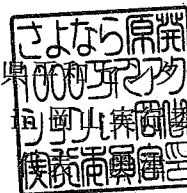
伊原木隆太 様

〒700-0083 岡山市北区津島西坂 1-4-18 (岡山県庁第一内)

さよなら原発1000万人署名岡山県委員会

〒703-8267 岡山市中区山崎 67-11 (妹尾方)

放射能のゴミはいらない! 県条例を求める会



核のごみ最終処分場の「自治体向け説明会」について
(緊急申し入れ)

貴職におかれましては、県民生活の安全・安心のためご尽力されていることに敬意を表します。

私たちは、県民を放射能被害から守る運動、とりわけ高レベル放射性廃棄物(核のごみ)を岡山県内に持ち込ませない運動をしている市民団体です。

去る5月22日、政府は、核のごみ最終処分場選定に関する基本方針を閣議決定し、国が「科学的有望地」を選定するなどの最終処分場選定方法の転換を行いました。これに基づき、政府は具体的な動きを開始しました。

私たちはこのたび、6月2日、岡山市内「メルパルク岡山」において、非公表・非公開で「核のごみ自治体向け説明会」が行われるという報に接しました。

ご承知のように岡山県では、1990年以来長野士朗元知事及び石井正弘前知事及び伊原木隆太現知事から再三にわたり高レベル放射性廃棄物については「県民が不安を覚えるような施設を誘致するつもりはない」趣旨のご回答を頂いて感謝しているところです。また、県内27市町村長からも同様の回答をいただいているところです。

このような沿革的経緯と環境下にある岡山において、核のごみ説明会が県民に非公表・非公開で行われることについて、私たちはこれを看過することはできません。このような説明会は、高レベル放射性廃棄物は一切受け入れるつもりはないとする県政の方針からすると不要・不適切であるばかりか、意に反して誤解を与える源になるもので受け入れるべきではないと考えます。

つきましては、以下のことを緊急に申し入れますので、誠意をもってご回答ください。

記

1. 政府がする、岡山における「核のごみ自治体説明会」が事実かどうか。その

うえで事実だとすれば、岡山県はどのように関わってきたのかその経過・主旨・規模など明らかにしていただきたい。

2. また、岡山県の「高レベル拒否」の政策を変更したのかどうか、明確にしてください。

3. 政策変更の場合、その理由と経過及び今後の方針を県民に明らかにしていただきたい。

4. 上記「自治体向け連絡会」に県内自治体の参加状況および自治体以外の参加団体をお知らせいただきたい。

5. このような政策は、非公表・非公開などという非民主的な手法を改め、すべて公開とするよう努力していただきたい。添付の資料はすでに報道されている内容なので、参考にしていただきたい。

6. これまでも要望してきましたが、今後、高レベル放射性廃棄物の最終処分に関する情報は、私たちにお知らせいただきたい。